

6月23日(日)10時から 沖野市民センターで
沖野館町内会自主防災組織設立1周年を記念した防災セミナー開催

① 館町内会・染谷会長より

館町内会自主防災組織の運用・実体化について、設立後の経過・概要並びにその活動報告。

- ・町内各区の「いつとき避難所」の確認、拠点化
- ・町内会長、各区・班長、福祉委員・民生委員の役割
- ・令和6年度自主防災組織

→地域内関係・関連団体紹介

⇒地域のコミュニケーションで防災・減災の輪を広げる

10月26日(土)沖野地区中学校区防災訓練

昨年同様、小・中学生も参加し避難訓練を実施する予定

② 仙台市防災アドバイザー・早坂政人氏より

「能登半島地震から学ぶこと」として 講演

- ・地震発生時の行動
- ・避難所運営について
- ・地震発生時→自分の体を守る
平常時:反復練習、住宅の耐震化 (※仙台市内:96%済)
災害時:日ごろの成果を信じて命を守る

隣近所に声を掛ける→近所の被害状況を集めながらいつとき避難所へ向かう

平常時からの近所付き合い:互いの自助

・避難所に行くのは

家屋倒壊・半壊、体調不良、ライフラインが断たれている

・避難所:決して居心地の良いものではなく、在宅避難を望む方が多い

食料・水・暖房などに十分な余裕をもち、ストックするときは適宜新しいものと入れ替えることも必要

→ローリングストック

自助・共助の部分を大切に

《その他》

・センターへの要望やご意見などへの回答

昨年12月1日、センターが再開館して半年。

趣味の教室、サークル活動、入浴などそれぞれの生活サイクルに合わせたセンターの利用をしていただいております、大変うれしく思います。

再開当初は給湯温度が不安定で浴室利用の方々にご迷惑をお掛けしましたが、業者に対応してもらい落ち着いています。

なお、センターにはご意見箱を設置して皆様からの希望やご意見を無記名で投函いただけようになっておりますが、皆様にはあまりなじみが薄いようで、直接職員に訴えてくださることのほうが多いようです。

今回は、センター職員が日常のコミュニケーションの中でいただいたご意見やご要望について報告します。

① サークル活動終了後、部屋の入口のレールにつまづく

→改修工事前と変わりありませんが、新しい利用者の方が増えてことによるものと思われます。入り口に注意喚起の掲示をしました。

② 活動後に掃除をしようとしたら、掃除用具が所定の位置になかった。

→各団体・教室へ元の場所へ戻していただくよう周知しました。

③ 男性トイレの入り口に(改修前取り付けてあった)のれんを付けてほしい。

→再度取り付けました。

④ ヘルストロンやマッサージチェア設置場所に日よけを設置して欲しい

→ホール前にはレースのカーテン、娯楽会議室付近の日が射す場所にはパーテーションを設置しました。

⑤ カレンダーを取り付けてほしい

→館内の希望箇所に設置しました。